

## トピックス

### 平成 18 年 4 月 1 日から 麻しん・風しんの予防接種方法が変わります！

平成 17 年 7 月 29 日に、予防接種法に関する政省令が改正されました。  
今回はこの改正のうち、**麻しん**及び**風しん**の主な改正点について情報提供いたします。

#### 1 接種対象者が変更され、回数も 2 回接種となります。

麻しん対策を強化するとともに風しんによる先天性風しん症候群の発生を予防するため、表のように予防接種の対象者及び回数が変更されます。

現 在		平成 18 年 4 月 1 日から	
麻しん ワクチン	1 歳から 7 歳 6 か月未満の間に 1 回	麻しん風しん 混合ワクチン	第 1 期 ( 1 回目 ) 1 歳から 2 歳未満の間に 1 回
風しん ワクチン	1 歳から 7 歳 6 か月未満の間に 1 回		第 2 期 ( 2 回目 ) 5 歳から 7 歳未満で小学校就 学前の 1 年の間に 1 回

#### 2 対象者についてのご注意

平成 18 年 3 月 31 日以前に、「麻しんワクチン」、「風しんワクチン」の**いずれか又は両方の  
予防接種を受けた人**は、平成 18 年 4 月 1 日以降は「麻しん風しん混合ワクチン」の定期の予  
防接種の対象となりませんのでどちらか一方でも未接種の人は平成 18 年 3 月 31 日までに両方  
の予防接種を完了 (それぞれ 1 回接種) してください。

麻しん・風しんの予防接種方法が変わります ([http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/2f/hi\\_3.html](http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/2f/hi_3.html))

愛知県感染症情報 (<http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/kansen.html>)

平成 17 年度疾患別ウイルス検出状況速報 (<http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/67f/prompt.html>)

国立感染症研究所感染症情報センター (<http://idsc.nih.go.jp/index-j.html>)

予防接種法に関する政省令の改正について (<http://idsc.nih.go.jp/vaccine/2005reg.html>)

予防接種スケジュール (<http://idsc.nih.go.jp/vaccine/dschedule.html>)

## 定点コメント (名古屋市除く)

### 尾張西部地区

病原性大腸菌 O1 15 歳男	ます。
病原性大腸菌 O6 5 歳男	【岩倉市 医療法人なかよしこどもクリニック】
病原性大腸菌 O18 1 歳女、40 歳女	
病原性大腸菌 O63 15 歳女	嘔吐を伴う感染性胃腸炎が少し増加して
マイコプラズマ肺炎 3 名	きました。
【一宮市 城後小児科】	【江南市 みやぐちこどもクリニック】
喘息性気管支炎が目立ちます。RSV、メタ	特に目立った流行はありませんでした。
ニューモウイルス以外のようです。	【春日町 丹羽医院】
時期はずれのヘルパンギーナ散発してい	

## 尾張東部地区

手足口病が少しみられます。  
【瀬戸市 津田こどもクリニック】  
今週は目立った感染症がありませんでしたが、喘息症状の患者さんが少し目立ちました。  
【尾張旭市 医療法人誠和会佐伯小児科医院】  
マイコプラズマ肺炎の入院が目立ちます。  
【春日井市 春日井市民病院】  
手足口病少々  
【春日井市 朝宮こどもクリニック】

感染症でないのですが、めまいと吐気を訴える成人の受診が多くありました。  
【春日井市 竹内医院】  
入院要するアデノ咽頭炎再び出現  
【小牧市 小牧市民病院】  
特に流行はございません。  
【半田市 おっかわこどもクリニック】

## 西三河地区

3歳女 カンピロバクター腸炎  
9歳女 病原大腸菌O15  
【豊田市 星ヶ丘たなかこどもクリニック】  
1歳男 サルモネラO4群、病原大腸菌O25(+)   
【岡崎市 花田こどもクリニック】

3歳女 カンピロバクター  
【岡崎市 医療法人川島小児科水野医院】  
アデノウイルス感染症時々あり。  
【碧南市 永井小児クリニック】  
腸炎ビブリオ 33歳女  
【西尾市 やすい小児科】

## 東三河地区

1歳男 アデノ扁桃炎  
【豊橋市 野村小児科】  
大変患者数少ないです。  
【豊川市 豊川市民病院】

腸炎ビブリオ感染症 8歳男、13歳男(兄弟) 釣ってきた生のエビが原因か  
【蒲郡市 蒲郡市民病院】  
病原大腸菌O1 1歳女  
【豊川市 ささき小児科】

## 一～三類感染症の発生状況 - 愛知県(名古屋市を除く。) -

細菌性赤痢

<関連リンク> 二類感染症

(<http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/2f/todokede.html#2-3>)

番号	報告 保健所	年齢	性別	発病 月日	初診 月日	診定 月日	備考
1	知多	56	女	9/16	9/17	9/20	推定感染地域 インドネシア

## 腸管出血性大腸菌感染症

&lt; 関連リンク &gt;

[http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/67f/eaggec.html#2\\_4](http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/67f/eaggec.html#2_4)

番号	報告 保健所	年齢	性別	発病 月日	初診 月日	診定 月日	備 考
1	岡崎市	28	男	9 / 17	9 / 18	9 / 22	O157 V T1 ( - ) V T2 ( + )
2	岡崎市	36	男		9 / 23	9 / 25	O157 V T1 ( + ) V T2 ( + )
3	岡崎市	34	女		9 / 23	9 / 25	O157 V T1 ( + ) V T2 ( + )
4	衣浦東部	7	女	9 / 16	9 / 17	9 / 21	O157 V T1 ( + ) V T2 ( + )
5	衣浦東部	4	女	9 / 16	9 / 20	9 / 22	O157 V T1 ( + ) V T2 ( + )
*	岡崎市	25	男	9 / 21	9 / 22	9 / 26	O157 V T1 ( + ) V T2 ( + ) 39 週報告分
*	春日井	78	男	9 / 20	9 / 21	9 / 27	O157 V T ( + ) 39 週報告分
*	春日井	14	男	9 / 18	9 / 21	9 / 28	O157 V T1 ( + ) V T2 ( + ) 39 週報告分

## 四類・五類（全数把握）感染症の発生状況

- 愛知県(名古屋市を除く。) -

レジオネラ症 1 例 (56 歳)

<http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/2f/leg.html>

アメーバ赤痢 1 例 (推定感染地域: 不明、推定感染経路: 経口感染, 性的接触)

<http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/2f/todokede.html#5-1>

後天性免疫不全症候群 1 例 (A I D S、推定感染地域: 国内、推定感染経路: 性的接触)

<http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/67f/hiv.html>

バンコマイシン耐性腸球菌感染症 1 例 (VanA)

<http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/2f/todokede.html#5-14>

愛知県衛生研究所企画情報部（文責 磯村）

お彼岸が過ぎて暮らしやすくなりました。お天気の良い日には、校庭の中庭でお弁当を広げているグループが目立ったりする季節です。いつも貴重な情報を有難うございます。

9月前半のまとめをお送りします。

- 1) 名古屋市内：名鉄病院福田先生からは感染症は全般的に少なく、咽頭結膜熱が比較的多いがピークは過ぎた印象でマイコプラズマ感染症が増加傾向、咽頭結膜熱の重症例とマイコプラズマ肺炎の入院が目立つ、城北病院渡辺先生からは外来、急患とも少なく感染症は少ない、喘息患者が少しづつ増加、第二日赤岩佐先生からは要入院例でサルモネラ腸炎が散発、千種区今枝先生からはムンプス 5 歳男児、感染性胃腸炎 10 歳男児（病原性大腸菌 O26、ペロ毒素陰性）、三菱病院入山先生からは感染性胃腸炎 4 名（病原性大腸菌 O1 が 2 名、O6、カンピロバクター各 1 名）、咽頭結膜熱 1 歳と 2 歳が入院、マイコを含む気管支肺炎の入院 3 名、アデノウイルス腸炎の乳児の入院 1 名、感染性胃腸炎の入院が 1 名、中京病院柴田先生からは入院患者で仮性ク룹がやや目立つとのお手紙でした。
- 2) 尾張地区：犬山市武内先生からは咽頭結膜熱、感染性胃腸炎がそれぞれ散発中、江南市昭和病院小児科からは喘息発作が目立ち R S ウイルス感染症の入院 1 例あり、ムンプス髄膜炎、アデノウイルス感染症の入院目立ち百日咳の入院 1 例あり、市立半田病院中島先生からは外来では目立つ感染症はなく、要入院例も少なく多くは 1 ~ 2 日で解熱する程度の咽頭炎、とのお手紙でした。
- 3) 三河地区：トヨタ病院木戸先生からは特に外来では特に目立つ感染症はなく、川崎病の入院例が多かった、刈谷市田和先生からは感染性胃腸炎とアデノウイルス感染症が少しづつあった、碧南市永井先生からはアデノウイルス感染症時々あり、豊橋市宮澤先生からはアデノウイルス咽頭炎、細菌性腸炎、突発性発疹症などいずれも少数例とのお手紙をいただきました。有難うございました。

2005 年 9 月 8 日（80 巻 36 号）<http://www.who.int/wer/2005/wer8036/en/>

黄熱。ギニア：05 年 8 月 31 日 WHO に報告。フォータジャロン地区。7 例（死亡 4）、4 例（死亡 3）は人口約 2 万 4 千人の交通要地マムーザ市。セネガル・ダカール市のパスツール研で確認。隣接するダラバ市からさらに 3 例（死亡 1）の報告あり。

ポリオ根絶。ナイジェリア。04 年 1 月～05 年 7 月：1988 年のポリオ根絶世界会議当時 125 カ国あったポリオ流行地は 03 年には 6 カ国（アフガニスタン、エジプト、インド、ニジェール、ナイジェリア、パキスタン）と減少したが 03～05 年ナイジェリアを発端とするサハラ砂漠南縁諸国のポリオ再燃で根絶計画は危機的状況に曝されている。ナイジェリアでは定期外補充予防接種(Supplementary immunization activities, SIAs)の北部諸州における中止に続き 03～05 年にポリオ野生株の全国的流行に襲われ、それまで 1 年ないしそれ以上流行のなかった周囲 18 カ国に拡大、さらにインドネシア、サウジアラビア、イエメンの 3 カ国に及んでいる。本報は 04 年 1 月～05 年 7 月の状況と野生株流行根絶努力の概略である。(1)定期予防接種：03 年のナイジェリアにおける生後 12 ヶ月未満小児の D T P 三混 3 回(D T P 3)接種率は全国で推定 31%、地域差が著明で北西行政区域で 6%、南西行政区域で 68%であった。D T P 3 は生後 12 ヶ月におけるポリオ生ワク 3 回(O P V 3)接種率とほぼ一致すると推定される。(2)S I A s：99～02 年は全国一斉予防接種日(National Immunization Days, NIDs)が 5 歳以下小児を対象に毎年実施され 03 年には北部諸州を重点的に実施予定であったが、安全性に関する根拠のない流言蜚語のため 03～04 年に数回の S I A s を中止した(北部最大の都市カノ市人口 770 万で、03～04 年の S I A s 中止、定期接種率激減)。05 年には全国一斉 N I D s を 5 回計画、接種率はやや上昇している。遊牧民、漁夫、僻地で接触困難な部族民など推定 14 万人以上が定期接種や S I A s 参加困難であり野生株流行ハイリスク集団となっているが最近これらの集団への接触が試みられていて 05 年にはワクチン接種機会のなかった小児 2,200 名以上に O P V 接種が実施された。定期接種や S I A s を受けた 6～59 ヶ月児の非ポリオウイルス性急性弛緩性麻痺(Acute Flaccid Paralysis, AFP)の全 AFP 児に占める割合がワクチン対象年齢(< 5 歳児)のポリオ免疫度の指標の目安となるが、ポリオ流行地 13 州の O P V 3 児の非ポリオ性 AFP / 全 AFP は 04 年前半で 15%、05 年前半で 19%と増加、他方ワクチンが接種されていポリオ野生株が流行地では 04 年前半で 66%、05 年前半では 71%であった。(3)AFP サーベイランス：774 地区、4,993 機関で実施。WHO のサーベイランス目標は 1)非ポリオ AFP 報告数が 15 歳以下小児人口 10 万当り 2 例以上、2)AFP 患者の 80%以上から 2 回以上ウイルス検査に適切な便材料が輸送されることであり、04 年のナイジェリアでは 04 年の非ポリオ AFP 報告数は全国で 7.3 例 / 15 歳以下小児 10 万、適切な検体搬入は 91%であったが地域差が大きく 38%の機関で目標以下であった。(4)野生株分離状況：野生株分離数は 03 年 355 株、04 年には 782 株と増加、1 型 600 株、3 型 182 株であった(詳細な地図あり。野生株ハイリスク地区はカノ市を中心とした北部=注：テキストにはないがイスラム教地区。一覧表あり)季節は 5 月が中心で 92%が 3 歳以下、78%が O P V 3 回未満、遺伝子解析では 1 型が 14 群、3 型が 4 群に分類された。



薬剤耐性熱帯熱マラリア。96～04年の出版物。[cdsdoc@who.int](mailto:cdsdoc@who.int).

9月2～8日届出。コレラ：ギニア、ギニアビサウ、リベリア、セネガツ、インド、イラン。

2005年9月16日(80巻37号) <http://www.who.int/wer/2005/wer8037/en/>

髄膜炎菌髄膜炎。アフリカ。最近3年間のサーベイランス。(1)背景：髄膜炎菌感染症。Neisseria meningitidis, Nm。感染経路は飛沫感染。無症状者も感染源となり、流行地では人口の10%が鼻咽腔粘膜に保有。環境因子や全身衰弱で感染増強。無治療では50%以上死亡、治療しても10%は発病早期に致死経過をとり生存者の10～20%に重い神経学的後遺症を残す。インフルエンザ桿菌や肺炎球菌も同じく細菌性髄膜炎をおこすが、大流行をおこす点でNmは重要であり13の血清型のうちA、C、W135の3型が殆どの流行源である。血清型と遺伝子型のモニターが流行対策に必須である。小発生は世界各地で見られるが大流行地区はサハラ砂漠南縁諸国で髄膜炎ベルトと呼ばれ、髄膜炎菌の高度の常在と反復発生が特徴で西はセネガルから東はエチオピアまで21カ国、人口4億を含んでいる。人口が密集する乾期、人々の移動で多発、人口10万当り罹患千名、過去10年間で70万罹患(死亡6万)、最大流行の96年には約5万の罹患(死亡2万5千)がブルキナファソとニジェールで見られた。(2)WHOの流行対策作戦：有効なワクチンは開発されているがWHOアフリカ地区の基本的方針は、獲得される免疫に限界があり一般住民の定期接種ではなくて流行が発生した時の緊急接種が中心となっている。a)有効期限が3～5年と比較的短い。b)2歳未満の小児では免疫獲得が弱い。c)集団免疫が獲得出来ないなどが理由である。これまでの経験からは発生早期の緊急接種が必要で迅速で正確な検査サーベイランスが要求される。2000年までは流行の主体はA型でA・C二型混合ワクチンで対応できたがその後02年ブルキナファソでW135型が登場、ハジ(注：イスラム教徒の年1回のメッカ巡礼)により広域な伝播となり翌03年にA、CにW135型を混合した多糖類三価ワクチンが開発され量産体制、価格・費用などの経済的問題、輸送と現地における配布などの問題が山積、メーカーとWHO、ユニセフ、赤十字・赤新月社、NGO等国際組織で対応が進んでいる。02年の流行以降、ワクチン緊急接種と平行して薬剤耐性、流行株の型監視がNm対策の重点として継続されている。(3)サーベイランス強化：02年、WHOを中心として国際組織によるサーベイランスがアフリカ12カ国でWHOの指針にそって開始(ベニン、ブルキナファソ、カメルーン、中央アフリカ、チャド、象牙海岸、エチオピア、ガーナ、マリ、ニジェール、ナイジェリア、トーゴ)。毎週の発生数と細菌検査の結果を重点とし、センターをWHOアフリカ事務局の監督の下にブルキナファソの首都、ワガドグにおき情報収集と解析開始。(4)結果(詳細な県単位の地図とグラフあり)：9カ国についてのまとめでは、a)ブルキナファソとニジェール2カ国で患者数全体の55%、発生県数の40%以上を占めている。b)週別患者数は03年が最高で乾期に集中(グラフあり)。05年にはエチオピアとチャドが増加。c)血清型はA型が多いがW135型も広く分布している(地図あり)。(5)今後：さらに詳細なサーベイランスとワクチン改良、とくに1歳以下の小児に有効で免疫持続が良好な多価ワクチンの開発が進められている。







愛知県感染症情報

2005年第1週～第38週(平成17年1月3日～平成17年9月25日)(累計)

愛知県衛生研究所

愛知県	定点数					RSウイルス感染症*	鳥インフルエンザ(高病原性を除く。)	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	風しん	ヘルパンギーナ	麻しん (成人麻しんを除く。)	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎 (オウム病を除く。)	成人麻しん
	インフルエンザ	小児科	眼科	STD	基幹																					
愛知県 (名古屋市を含む)	195	182	35	51	13	126	80,236	2,647	6,679	29,793	10,308	2,273	878	4,564	48	28	12,332	20	7,767	23	1,241	10	7	178	0	1
総数 (名古屋市は除く)	125	112	24	37	12	108	63,771	2,022	4,593	21,318	8,279	1,876	697	3,517	38	15	9,694	13	6,145	16	966	10	7	178	0	1
名古屋	70	70	11	14	1	18	16,465	625	2,086	8,475	2,029	397	181	1,047	10	13	2,638	7	1,622	7	275					
尾張東部	瀬戸	9	9	2	3	1	14	4,171	494	558	1,103	395	59	33	202	2	2	666	3	258		35			51	
海部	津島	7	7	2	2	1		3,211	24	126	329	76	81	133		1	542		589		37	1	1	13		
尾張中部	師勝	4	4	1	1			2,064	2	137	226	18	22	84		1	404		134	1	58					
尾張西部	一宮	16	12	3	4	1	3	4,491	165	325	1,801	475	258	31	304	2	1	635		558	1	88	1			
尾張北部	春日井	9	9	2	3	1	18	7,535	354	388	588	125	32	360	10	6	896	1	275		43	1	2			1
	江南	6	6	1	2		6	2,731	176	503	659	105	42	359	1		773	2	503		45					
知多半島	半田	6	6	1	2	1	7	2,950	158	179	377	181	32	158	1		140	1	273	3	64				3	
	知多	7	7	2	2		7	3,766	129	421	1,098	405	65	29	244		1	458	1	405	1	26				
西三河南部	岡崎市	11	7	2	2	1	5	6,131	57	322	656	128	53	449	4		968		640	4	62					
	衣浦東部	13	13	2	4	1	6	9,033	70	412	1,070	133	133	338	3	1	1,011	3	604		178				12	
	西尾	5	5	1	2	1	12	1,893	20	196	438	156	41	155			501		197		27					
西三河北部	豊田市	9	9	2	4	1	8	4,651	43	411	780	103	60	307	9	1	1,145		510		108	3	3	71		
東三河南部	豊橋市	12	8	2	4	1	2	6,866	255	390	536	167	52	255	2		700		230	2	130	4			23	
	豊川	9	8	1	2	1	20	3,616	71	214	1,294	295	55	165	4	1	830	2	960	4	65		1	5		
東三河北部	新城	2	2			1		662	4	11	51	7	1	4			25		9							

\* 半田保健所から37週分1件削除報告あり

愛知県感染症情報

2005年第1週～第38週(平成17年1月3日～平成17年9月25日)(累計)

愛知県衛生研究所

年齢階層 (名古屋市を除く)	RSウイルス感染症*	インフルエンザを 除く。(高病原性鳥 インフルエンザを 除く。)	咽頭結膜熱	A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	風しん	ヘルパンギーナ	麻しん (成人麻しんを除く。)	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎 (オウム病を除く。)	成人麻しん
計	108	63,771	2,022	4,593	21,318	8,279	1,876	697	3,517	38	15	9,694	13	6,145	16	966	10	7	178	0	1
～6ヶ月	50	319	15	9	326	214	19	2	240	12	1	106		6		7					
～12ヶ月	22	959	87	28	1,377	484	121	37	1,929	5		711	2	28		6					
0歳																	4		4		
1歳	16	3,279	332	139	3,135	1,405	452	39	1,241	4	2	2,142	3	278		31		1	25		
2歳	11	3,675	261	249	2,207	1,366	341	36	93	3	3	1,686	1	563	1	30			27		
3歳		4,334	395	521	1,962	1,725	354	77	13	2	1	1,702	1	1,004	1	48	1		25		
4歳	2	5,537	350	836	1,734	1,428	235	104		2	1	1,297	1	1,301		33			17		
5歳	3	5,473	240	934	1,521	825	172	114		1	3	932	3	1,081	1	24					
6歳	3	5,343	140	639	1,103	360	68	83		2		487	1	733	1	20					
7歳	1	4,021	61	400	804	188	34	64			2	255		394		12					
8歳		3,659	33	243	678	90	25	51		1		138		245	1	15					
9歳		3,188	30	172	544	50	14	39				88	1	147		8					
5歳～9歳																			43		
10歳～14歳		5,827	43	233	1,327	93	14	41	1	1	1	102		222		27			14		
15歳～19歳		993	4	23	478	11		1				9		22	1	24			1		
20歳～			31	167	4,122	40	27	9		5	1	39		121			5				
20歳～29歳		4,271													3	147		1	4		
30歳～39歳		6,135													2	270		2	6		1
40歳～49歳		2,631													2	90		2	2		
50歳～59歳		1,857													3	73		1	2		
60歳～69歳		1,149														58			4		
70歳～																43					
70歳～79歳		684																	3		
80歳以上		437																	1		

\* 半田保健所から37週分1件(6歳)削除報告あり